

平成29年7月21日  
東部農林振興センター 雲南事務所 農業普及部

<b>標 題</b>	雲南有機農業研究会会員が、我が家の課題解決に向けて始動
------------	-----------------------------

(ダイジェスト)

平成29年6月22日(木)、雲南市木次町寺領の”食の杜”にある「瓦葺きの家」において、平成29年度第2回雲南有機農業研究会が開催されました。この研究会は、これまで有機農業の栽培技術に関する勉強会を行ってきましたが、今年度は、会員各自の抱えている課題について、自ら解決するための畑を設けて実証することにしました。島根県農業技術センターから病虫害防除技術の講習を受けた後、研究会員12名が、各々の課題と意気込みを発表しました。

雲南有機農業研究会は、平成27年度に開催された有機栽培基礎講座（奥出雲産直振興協議会の有志参加）の受講者を中心に、平成28年度に設立された有機農業実践のための研究会です。これまでは座学を中心に有機農業技術に関する講義や実習・視察を行ってきました。

今年度の第1回研究会では、ワークショップ形式の意見交換で様々な提案が出され、今年度は2ヶ月に1回の開催とし、現地巡回を行いながら具体的な実践技術について学ぶことが決定しました。併せて、我が家で解決したい課題について各自で実証ほを設置することになりました。

第2回目の今回は、島根県農業技術センター技術普及部から、「野菜の有機栽培で問題となる害虫について」と題して有機農業普及課の月森課長に、続いて、同課の三島専門農業普及員から「太陽熱消毒の方法と効果」について講義を受けました。

その後、いよいよ会員から各自の抱えている課題や疑問について、自分で実証ほを設置して観察する試みの発表です。

実証ほの計画書をプロジェクターで映しながら各自が説明し、農業技術センターの講師から助言を受けました。発表者以外の会員からも、実践経験や知識の披露、助言などがあり、中身の濃い情報交換となりました。

今後、これらの畑を巡回しながら現地での研修を進める予定です。



研究会の様子